

不登校の子どもの気持ちを感じられますか？

〈第2回〉 自発性とアタッチメント(愛着)形成

不登校などの就学についてのトラブルは、その行動それ自体が問題というより、じつは何かまったく別の問題の反映である場合が多くあります。それは、学校そのもの、先生、授業の内容、クラスの運営、友だちとの関係、家族との関係など、さまざまな要因が絡み合ったものです。ですから、子どもを再び学校に行かせるようにしても、それでは先生や親が安心するだけで、子どもが抱えている問題の解決にはなりません。子どものストレスが何であったかが置き去りにされてしまうことは避けなければならない、子どもの気持ち、子どもの訴えにしっかりと届くことが肝心です。

どうしたら、子どもの心に向き合えるか。どうしたら、いつでも子どもが「お母さん／お父さん、あのね」と、どんなことでも気軽に話す気になれるのか。そのためには、保護者の心が、子どもに対して開かれていなくてはなりません。いきなり子どもにアドバイスをしたり、指示をしたりするのではなく、まずは子どもが訴えることをそのまま聞き入れて、子どもの気持ちを深く感じ取ること。この、単純ではあっても簡単には実行できないことを、どうしたら身につけることができるかを第1回では体感的実技も交えて学んで行きました。第2回では、前回のおさらいに加えて、アタッチメント(愛着)形成が子どもの気持ちにどのような関わりを持っているのかを含め、更に深く子どもの気持ちに近づいて行きます。講師は前回に引きつづき長年にわたり大学で臨床心理学の深い知見に基づき学生の自発性に基づいた授業とゼミの運営を行ってきた石原次郎・東洋大学名誉教授です。

第2回 (お申込み 12月15日から)
2025年1月18日(土) 14:00 ~ 16:00
(開場 13:30)

永福和泉地域区民センター 集会室

杉並区和泉3-8-18 電話 03-5300-9411

●京王井の頭線「永福町」駅北口 徒歩5分 ●車での来場はご遠慮ください。

参加費:無料、 定員:80名

対象:幼児~中高校生の保護者、保育・教育関係者、不登校に関わる団体・施設の職員、ほか関心のある方

第1回は 2024年7月20日(土) に終了いたしました。

- 要お申込み、先着順、詳細は下記または右下のQRコードからご確認ください。
- 第2回は、第1回の続編です。なお一部第1回と重複する部分もあります。
- 第1回と第2回は、それぞれ別々にお申し込みください。どちらか片方だけのお申し込みもできます。
- お申し込みは、お一人ずつ(大人)でお願いいたします。
- ご記入いただいた個人情報は、連絡・受付・保険など本講座の運営にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。
- お子様のご同伴はできますが、託児サービスはありません。ご自身での管理をお願いいたします。

主催:こどもの成長を護る杉並ネットワーク
共催:杉並区教育委員会



講師:

石原 次郎

(いしはら じろう)

◇BUNTE KISTE 主宰

◇東洋大学総合情報学部
学部長 名誉教授



文学修士。東北大学大学院文学研究科博士後期課程中退。東北大学文学部助手、北海道大学文学研究科助教授、東洋大学工学部教授、東洋大学総合情報学部教授。東洋大学では感性をキーワードにして全生物を包括する学術研究を試みて、「感性学」「芸術学」「美術史」「メディア表現論」などの科目を担当。感覚の特質に関する研究のほか、舞台演出、造形活動なども行う。教育の現場では北海道大学着任以来、学生との双方向授業、出欠を問わない、試験や課題レポートを行わない、成績評価を行わない、学生の制作物に対する評価を一切行わないなど、個の成熟と自主性を伸ばすことを目的とした自由教育の徹底した実践を試み続けて来た。また、重度障がい者社会支援フォーラムに参加するなど、障がい者支援や不登校対策などに深い造詣を持ち、積極的に取り組んできた。2023年にはBUNTE KISTE を設立し、感じるワークショップを開催。人間性のより深い理解を、芸術、臨床心理、社会を感性を通して考える対話などを通して行い、また若者を中心とした各世代の自立支援に取り組んでいる。